

議会が「もっと」近くなる

市民の声

みんなの力を
大きなパワーに



先日、リニューアルされた議会だよりを目を通し、「見やすくっていいね～」と思ったのが、私の率直な感想です。カラーになって見やすくなり、何となく目を通したという、私のような人も多いのではないのでしょうか。

私は社会福祉協議会に勤務をしており、だれもが住みやすいまちをつくるため“助けあい・支えあい”を推進するお手伝いをしています。「市政」と「まちづくり」に共通すること……それは、市民の皆さんが主役であることだと思います。自分たちのまちは自分たちで、自分たちの住みやすいようにつくっていく必要があるのではないのでしょうか。住みよいまちにするために、パイプ役の議員の皆さんが日々どのような活動をしているのか、市政はどのよう

な動きをしているのかということを知っておくことも、私たち市民の役割なのかなと感じています。

かつての地域のように行政が行ってくれるのを待つのではなく、行政と市民とが協働しながら、ともにまちづくりをしていけばもっと素敵なまちになることが期待できます。そのためには、“市民の声”を代弁する議員さんの存在が重要だと思います。

議会の様子は仕事をしている人も、議会だよりを見ることで現状を知ることができます。興味・関心を持つきっかけは人それぞれだと思います。

“だれかが”ではなくて“みんなで”支えあって、住みやすい魅力的な燕市をつくれたらいいですね。

もんやじゅんこ
門谷 淳子さん(燕市水道町)

※協働とは…相互にお互いの不足を補い合って、ともに協力して課題解決に向けた取り組みをすることです。

編集後記 「編集委員1人一言」



長井由喜雄 合併後ずっと議会だよりの編集に関わりました。外見も中身もずいぶん前進したと思っています。ネットを通じた発信にもご期待ください。

小林由明 2年間ありがとうございました。議会報は、公平公正な観点で、住民と議会をつなぐ大切なものだと思います。今後もよろしくお願いたします。

タナカ・キン 新人の小林・渡邊議員の参加もあって、表紙をカラーにしたのははじめ内容も見やすくなったと思います。あとは次の委員にバトンを託します。

齋藤紀美江 多くの伝えたい事柄を短い文章で、いかにわかりやすく伝えることができるか。毎回、議会報の編集時に悩んだことです。「言葉をそぎ落とす」ことの重要さを教えられました。

齋藤信行 2年間やってみて、「読者の立場に立って読みやすく」とつくったつもりです。市民の皆様に親しまれる議会報にしたいと思えます。

渡邊雄三 議会報委員として多くの事を学び感謝しています。議会報を1人でも多くの人に読んでいただきたいとの思いで務めさせてもらいました。今後、議会報がより多くの市民の皆様に愛されるよう願っています。

中條征男 最近は異変であるのか異常であるのか心配である。領土主権問題、災害等や政治の不安定さなどで多くの方は不安を持っていると思う。政治の安定を望む。

巨大なクレーンを使って建設中の新庁舎は、黄金色に輝く田んぼに囲まれてその姿を現してきました。まちづくりの拠点として来春に完成予定です。新しい庁舎にふさわしい行政の在り方であってほしいですね。
(2012年9月13日撮影)

今号の表紙



【議会報等特別委員会】

委員長：長井由喜雄 副委員長：小林由明
委員：渡邊雄三 タナカ・キン 齋藤紀美江 齋藤信行 中條征男



燕市議会では、10月1日から議員の発言がホームページで簡単に見られる「会議録検索システム」を導入しました。

※一部のブラウザでは見られませんので、ご了承ください。